



地域の輪つなぐ盆行事

8月の13日(日)から15日(火)にかけて、町内各地区において、盆踊りやテントコ踊りなどの盆行事が行われました。盆踊りとは、亡くなった方を供養するための行事といわれますが、それだけではなく、地域の娯楽として、また、地域の結束を強めるため行われてきました。上島町においても、お盆時期に帰省した方と地元の方が久しぶりに出会う場のひとつでもあります。近年の過疎化により、参加者も減少傾向にあります。抽選会を開いたり、かつての踊りを復活させたりと、各地区で工夫をこらし毎年賑やかに開催しています。



写真上：下弓削地区盆踊り
写真下：魚島地区盆行事テントコ踊り

編集後記

9月30日(土)、いよいよ「愛顔つなぐえひめ国体2017」が開会します。開会を前に、会期前競技が県内各地で実施されており、テレビなどで県内選手の活躍が報道されていますね。

えひめ国体は、選手として競技に参加するだけでなく、ボランティアや応援などで県民誰でも参加できる大会です。特集ページにて歓迎看板などの紹介をしましたが、その他にも、町内各小中学生が、会場を飾る花プランターを育ててくれました。子どもたちが一生懸命作ってくれたおもしろい作品。その力作を、軟式野球会場、いきなスポレク公園で、ぜひご覧ください。(増岡 浪江)